

競 技 日 程

【 監督会 8:00 】【 開始式 9:00 】

令和 5年 7月 9日(日)

		〈 トラックの部 〉		〈 フィールドの部 〉
1	9:15	女子 コンバインド`A 80mH (3 組)		【 走 高 跳 】
2	9:35	女子 5年 100m 予選 (6 組上位 8 名)		
3	10:00	女子 6年 100m 予選 (5 組上位 8 名)		10:00 男子 コンバインド`A
4	10:20	男子 5年 100m 予選 (5 組上位 8 名)		11:00 女子 コンバインド`A
5	10:35	男子 6年 100m 予選 (4 組上位 8 名)		
6	10:55	女子 1・2年 50m 決勝 (7 組 タイムレース)		
7	11:25	男子 1・2年 50m 決勝 (9 組 タイムレース)		
8	12:15	混合 5・6年 400mR 予選 (5 組上位 8 チーム)		【 走幅跳 】
9	12:45	混合 1~4年 400mR 決勝 (4 組 タイムレース)		
10	13:15	女子 5年 100m 決勝 B		9:30 男子 コンバインド`B { Aピット
11	13:20	女子 5年 100m 決勝 A		{ Bピット
12	13:25	女子 6年 100m 決勝 B		13:30 女子 コンバインド`B { Aピット
13	13:30	女子 6年 100m 決勝 A		{ Bピット
14	13:35	男子 5年 100m 決勝 B		
15	13:40	男子 5年 100m 決勝 A		
16	13:45	男子 6年 100m 決勝 B		【 ジャベリックホール投 】
17	13:50	男子 6年 100m 決勝 A		
18	14:00	男子 コンバインド`A 80mH (2 組)		9:30 女子 コンバインド`B
19	14:10	女子 3・4年 100m 決勝 (13 組 タイムレース)		13:30 男子 コンバインド`B
20	14:50	男子 3・4年 100m 決勝 (14 組 タイムレース)		
21	15:35	混合 5・6年 400mR 決勝		

< 競 技 注 意 事 項 >

1. 本大会は、2023年（公財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会要項によって行う。
2. 競技場の使用上の注意
 - ① 更衣室は、男子・女子各更衣室を利用すること。（正面スタンド）
 - ② 貴重品は各自保管すること。（盗難防止上）
 - ③ 主競技場トラックに限り7：30～8：30の間、開放する。（フィールド芝生立入禁止）
 - ④ 医務室は正面スタンド下に設ける。
 - ⑤ 3年生以上はオールウェザー用スパイクを使用してもよいが、スパイクピンの長さは9mm以下とする。
スパイクは、競技場以外では履かないこと。（スタンド・通路・ロビー等は使用禁止）
 - ⑥ 3・4年100m、5・6年100m、400mリレーのスタートでは、スパイクシューズでない競技者もスターティングブロックの使用ができる。
 - ⑦ その他の注意事項は、役員・審判員の指示に従うこと。
 - ⑧ 競技場開錠は7：00に行う。

3. 競技者の招集について

- ① 招集所はメイン競技場第3ゲート付近に設ける。
- ② 招集には、各団体の指導者または保護者が競技者（児童）を必ず引率すること。（2名まで）
- ③ 招集開始時刻及び招集完了時刻は次のとおりとする。
（時間はすべて競技時間開始時刻からとする）

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック種目、走高跳 ジャベリックボール投げ	40分前	30分前
走幅跳	50分前	40分前

※組数の多い1・2年50m、3・4年100m、5・6年100mについては、6組目以降の招集完了時刻は次のようにする。

6組 ～10組 競技開始15分前
11組 ～ 競技開始時刻

- ④ リレー競技は、予選・決勝ごとにオーダー用紙を競技開始時刻1時間30分前までに競技者係（招集所）に提出すること。（オーダー用紙は招集所にあります。）
- ⑤ 最終コールを受けて競技者係の指示に従って入場すること。

4. 競技運営について

- ① トラック競技の走路順（レーン）、フィールド競技の試技順はプログラムに記載してある通りで行う。
- ② トラック競技
 - ・ スタートの合図はイングリッシュコールとする。
 - ・ スタートは5・6年生はクラウチングスタートのみとする（1～4年生はスタンディングでもよい）。スターティングブロックは使用しなくても良い。同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者を失格とし、オープン参加として走る。棄権があった場

合は、そのレーンをあけて競技を行う。

- ・ 100m（5年・6年）では、予選をタイムレースで行い、A 決勝を予選上位 8 名までの選手、B 決勝を予選 9 番～16 番までの選手で行う。
- ・ 5・6 年生男女混合リレーは、予選をタイムレースで行い、予選上位 8 チームによる決勝を行う。
- ・ オープン種目（1～4 年生）は、タイムレース決勝とする。
- ・ リレー競走におけるテイクオーバーゾーンは基準点から手前 20m 後ろ 10m の合計 30m とする。テイクオーバーゾーン外から走り出してはならず、ゾーンの中でスタートしなければならない。
- ・ リレー競走に出場する選手のユニフォームはできるだけチームの全選手とも同一デザインとする。
- ・ リレーに出場するマーカーテープは招集所に用意されているものを使用する。
- ・ 出場競技の時刻が 2 種目重複していてコールに来られない場合は、事前に審判員にその旨を必ず伝えておくこと。
- ・ 80m ハードルは、ハードルの高さ 70cm、ハードル間 7m、ハードル台数 9 台、スタートから第 1 ハードルまで 13m、最終ハードルからゴールまでを 11m とする。
- ・ 競技者の安全のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路（レーン）を走ること。

③ フィールド競技

- ・ 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとする。男女とも 1m05cm から試技を行う。また、バーの上げ方は以下の通りとする。

男子…(練習 1.00m)1.05-1.10-1.15-1.20	以降、3cm 刻みで上げるが、1 人になった時は その限りではない。
女子…(練習 1.00m)1.05-1.10-1.15	

- ・ 走高跳は、自分が申告した高さから試技を開始し、2 回続けて失敗した時点で終了とする。
- ・ 走幅跳、ジャベリックボール投は全員 2 回の試技とする。
- ・ ジャベリックボール投の助走距離は 15m 以内とする。（やり投のピットを使用する。）
- ・ ジャベリックボール投の試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることとする。羽だけを持って投げることは禁止する。

④ コンバインド競技

- ・ 本大会におけるコンバインド競技は以下の順で行う。
コンバインド A（男子）：走高跳、80m ハードル
コンバインド B（男子）：走幅跳、ジャベリックボール投
コンバインド A（女子）：80m ハードル、走高跳
コンバインド B（女子）：ジャベリックボール投、走幅跳
- ・ 各種目の得点は『JAAF 小学生コンバインド種目得点表（2022 年度改訂版）』による。得点は男女共通とする。
- ・ 80m ハードルと走幅跳における風速は得点・順位に影響しない。
- ・ スタートまたは試技を行い、途中棄権（DNF）、記録無し（NM）、失格（DG）および参考記録（80m ハードルにおいて不正スタートとなりオープン参加時の記録）の場合、得点は 0 点とする。

- ・ 1種目目に出場し、途中棄権（DNF）、記録無し（NM）、失格（DG）、参考記録の場合、2種目目の出場は可能とする。
- ・ 1種目目で欠場した（スタートまたは試技を行わない）競技者は、2種目目には出場できない。
- ・ 1種目目または2種目目のいずれか、または両方において、途中棄権（DNF）、記録無し（NM）、失格（DG）、参考記録の場合、2種目の合計得点は、コンバインド得点として認められる。
- ・ 2種目の合計得点で順位を決定する。合計得点と同点の場合は、同順位とする。1位が同点の場合は、各2種目の中で得点を比較し、最高得点を取った競技者が全国大会に出場できる。それでも差がつかない場合は、抽選を行う。

5. 競技場への入退場について

- ① 入場は、すべて係員の誘導および指示に従うこと。
- ② 退場は、審判員の指示に従うこと。

6. 表彰

各種目8位まで表彰状を授与する。（1～3位はメダルも授与する）

7. その他

- ① 救急・保護については、応急処置はするが、あとは主催者において責任を負わない。
- ② 監督・付き添い者に対し、主会場内での競技者の誘導をお願いすることがあります。御協力をお願いします。
- ③ 横断幕・チーム旗・のぼり旗等は、メインスタンド全て、サイドスタンド最前列、バックスタンドK階段からL階段の間の中段手すりならびに最前列には使用しないこと。
- ④ 競技会場（練習場・応援席）で生じたゴミ類は全て持ち帰ること。
- ⑤ 不明な点は、本部（総務）に問い合わせること。
- ⑥ プログラムは、受付にて1部500円で販売する。
- ⑦ 全国大会出場資格について

本大会の全国大会選考種目（5・6年生）優勝者（リレーは除く）は、9月16日（土）～18日（月）（競技会は17日）に新横浜・日産スタジアムで開催される全国大会に出場する資格を得られる。

- (1)リレーチームのメンバーのうち、1名でも他種目に回った場合、そのリレーチームは全国大会への出場資格を失う。なお、選考会後の追加エントリーは認めない。リレーチームのユニフォームは原則として全選手とも同一デザインとする。ただし、男女による型の違いは認めるものとする。
- (2)同一人が2種目を兼ねて出場することはできない。
（コンバインドA・B、リレーも1種目とする）
- (3)優勝者の辞退があれば、順次下位の者に出場資格がある。
- (4)3日間全日程参加できる者。
- (5)全国大会出場者は、大会終了後、申し込み必要事項の説明会をします。